

ワークショップ

令和3年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進ワークショップ（産業部門） の実施について（オンライン）

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2022年2月17日、サウジアラビアと日本の共催でプラスチック加工高等研修所（HIPF）を対象にオンラインワークショップを開催しました。

サウジアラビア王国では、貴重な炭化水素資源を活用し、皇太子殿下が発表された「炭素循環経済」アプローチにより2060年にネットゼロを目指すために、エネルギー効率化が重要な政策課題となっています。日本政府は、同王国におけるエネルギー効率化への挑戦を支援するため、エネルギー効率化の多くの分野で同王国と協力関係にあります。本ワークショップは、このような進展を継続させるため、同王国と日本の専門家との経験共有や意見交換を通じて、同王国の若い世代を将来のエネルギー効率化の専門家として育成するとともに、産業分野や日常生活におけるエネルギー効率化を促進するための新たな戦略を培うことを目的としています。



フォトセッション（左上：岩井駐サウジアラビア大使、左下左側白衣：HIPF校長）

主なテーマは以下の通り。

- (1)サウジアラビアの産業部門におけるエネルギー効率化の現状
- (2)生活・産業分野での省エネルギー活動

学生の省エネ意識啓発のためのアニメ動画（15分）を作成し本ワークショップにて流しました。

1分紹介動画：<https://youtu.be/cgum3i1rh6w>

歓迎の挨拶はHIPF校長のDr.Khaled Al-Ghefaili様より賜り、開会の辞は経済産業省より猪口相様、祝辞は特命全権大使の岩井文男様から頂戴いたしました。

参加者は50名程となり、有意義な質疑応答及びクイズ大会が行われ産業分野や日常生活におけるエネルギー効率化の方法について知見・経験を共有することができました。